****

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・分数×整数の計算方法を図と結びつけて理解し，計算できる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・整数÷整数，小数÷整数で，「計算しにくい数は，計算しやすい数に直せばよい」ということを学習している。

≪学習問題≫

窓ふきで残った ｍ2を，3人で同じ広さ

に分けてふきます。1人何ｍ2 ふくことにな

りますか。

教材研究ノート№6-A-1

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

②見通し：分子を3でわることができない。

→3でわれる分数に直したり，図で考えたりすればよさそうだ。

②学習課題：計算できる数に直したり，図で1人分を表したりして計算のしかたを説明しよう。

③個人追究：図や式をもとに，計算方法を説明する。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの求め方にも共通することは何かな？」

→「1を3で割れるように，分母分子を3倍すると，もとになる単位（1をいくつに分けたか）が15になっている。」

④共同追究後半（思考を深める）

「分子をわれなくても，簡単に計算する方法はないのかな？」

→「答えから見ると，分子はそのままで分母に3をかければよいかもしれない。」

　「図から言えば，5に分けたものをさらに3に分けているから，5×3が単位となる。」

　「÷3の方法を見ると，5×3が分母になる。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・計算しやすい数に直すことで，計算で求めることができた。

・図でも式でも，1を分ける単位を増やすことになっている。

・分母にわる数をかければ結果が求まるのではないか。

⑥定着･活用問題

見つけた方法で，計算してみよう。

(1) 　　　　　　(2)

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・分子÷整数という考え方とつなげられない場合には， を例示して，分数÷整数の基本は，分子÷整数であることに気づかせるとよい。

・図で追究し， の部分のみを3等分して とした児童には，1と考えた全体の量に着目させ，全体からみると であることに気づかせたい。

【板書計画】